

ダーツの適正位置と分量について

共立女短大 ○西村洋子 関山和世 小野幸子

目的 前報において布帛による曲面構成に必要なダーツ量はせん断特性をはじめとする布帛の力学的特性と α 相関によって求めることができた。そこで本報では具体的問題として、まず接着テープ法によって人体の体表面を把握し、シエルを布帛上に平面展開し前報より得られた布帛の力学的特性とダーツ量との関係を用いて必要なダーツ量を求め、本方法により構成された布帛の形成曲面と体表面とを比較し、そのフィット性について検討することを目指す。

方法 接着テープ法により体表面を複製したシエルに、第一報の①～③の方法による線を描き記入しそれに基づいて平面展開を行いダーツの分布およびその量を求める。次に人体表面の曲面構成を把握し、第一報から曲面に対するダーツの最低必要数と分布量を求め平面展開シエル上のダーツ量の減少およびダーツの移動を行うことにより布帛に適したダーツの位置、分量を割り出した。次にそれに基づいて布帛を用いて製作し、それを人体表面にあてがい、触針法、モアレ縮法などからフィット性を検討した。

結果 第一報の結果および人体の曲面把握から理論的に割り出されたダーツ量を取った布帛と人体表面とは、そのフィット性において良好な一致がみられた。ダーツの適正位置と分量は布帛の種類およびその力学的特性と人体表面の曲面特性をとりえることにより理論的に把握できることになった。